

会長挨拶

会長 木村智昭

皆様こんにちは。本日は、奈良東大寺の大仏の話しをさせていただきます。

奈良の大仏は、現存する世界一の青銅製品です。青銅は、銅とスズの合金で材質的に銅より優れています。日本へは紀元前1～2世紀に大陸から伝えられ、日本各地で青銅は、生産されていました。

奈良の大仏は、大化の改新(645年)の100年後、743年に聖武天皇の強い御意志のもとに建立したものです。大仏の高さは15m、重量380t、肉厚5.5cmで、模型作製に1年2ヶ月、本体鑄造に2年1ヶ月、補鑄に5年を費やし、完成まで作業員218万人、30年を費やした国家内事業でした。

鑄造方法は、まず同じ大きさの大仏の模型を作ります。その外側に壁を作り、大仏の模型を5.5cm削ります。その5.5cmの空間に青銅を流しこむ訳です。1回では鑄込めないの、高さ15mを8段(8回)に分け、下から順に鑄込んでいきました。1段の高さは2mの土手を作り、1回に50tを鑄込むためにその土手の上に50基の溶解炉を設置し、同時に溶解し鑄込んだ訳です。1回に3000人が働き、1段を3ヶ月ずつ作って25ヶ月で鑄造しました。人力で風を送り、人力で50tの銅とそれ以上の炭を投入し、3000人が一糸乱れずに仕事をし、一気に溶銅を鑄込むという仕事です。今から、1300年も昔にこんなことが出来たということは、私達鑄物屋から見ると信じられないことです。こんなすごい事ができた背景には、仏教の国家的発展や国の諸制度の充実と鋳工業の目覚ましい向上があったと考えられます。奈良の大仏は日本が世界に誇れる物の一つです。

さて、ロータリー特別月間として、2月は平和と紛争予防/紛争解決月間、3月は水と衛生月間と指定されています。本日はそれに関連して、小林国際奉仕委員長の紹介で、NPO法人ウォーターエイド・ジャパン理事長の小寺清様に、「水とトイレへのアクセス「誰一人取り残さず」確保する!」をテーマに卓話いただきます。よろしくお願ひ致します。

▶▶▶ 幹事報告

1. 例会臨時変更のお知らせ

沼津柿田川RC 2月13日(水) 例会変更

2月20日(水) 例会変更

沼津西RC

2月14日(木) 祝日週休会

2月21日(木) 例会変更

→24日静岡第2グループIM

2. 3月5日は香貫山で大漁桜のメンテナンスおよび花見例会を行います。雨天時には市民文化センターでの移動例会としますので、フォルダーの出欠表のご記入をお願いします。



インスピレーションになろう

2018-2019年度 国際ロータリー会長

バリ・ラシン氏 テーマ

「インスピレーションになろう」



RI 第2620地区 静岡第3分區

沼津北 ロータリークラブ

テーマ

「魅力あるクラブをめざして」

WEEKLY
BULLETIN NO. 26<http://NNRC.e47.jp/>

会長 木村 智昭 幹事 大貫 隆弘

事務所 〒410-0801 沼津市大手町1-2-1
フォーラム壹番館4F
TEL.055-963-1960 FAX.055-963-1970
E-mail:numazu-n-rc@coffee.ocn.ne.jp

例会場 〒410-0802 沼津市上土町100-1
沼津リバーサイドホテル
TEL.055-952-2411 FAX.055-952-2455

例会日時 毎週火曜日 12:30～13:30

プログラム

2月12日 通常例会
2月19日 通常例会、理事会
2月24日 静岡第2グループIM
2月26日 振替休会

クラブ会報委員会

委員長 高橋 健 副委員長 橘 哲夫
委員 高梨 芳高 飯田 互 梨本 幸博
植松 恒裕
本号担当 高橋 健